



令和3年度

清水幼稚園の教育

《診断編》



『いきいき のびのび 子どもの笑顔あふれる幼稚園』

《教育目標》 げんきな子。やさしい子。がんばる子

きひきひ

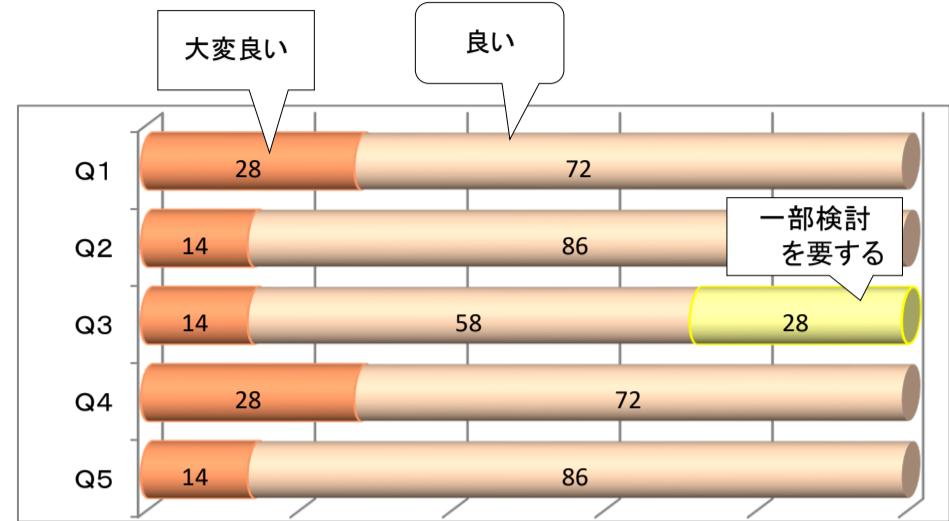
にこにこ

のびのび

◇教育目標・経営方針

昭和53年4月13日に開園された本園です。教育目標「げんきなこ子 やさしい子 ガンバる子」として設立されました。
Q1 教育目標の具現化に向け、児童の実態を踏まえた経営の重点を設定しているか。
Q2 目標は、園や地域の特色を生かしているか。
Q3 目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。
Q4 経営方針は前年度の反省を生かしているか。
Q5 方針は全職員で検討し、共通理解を図っているか。

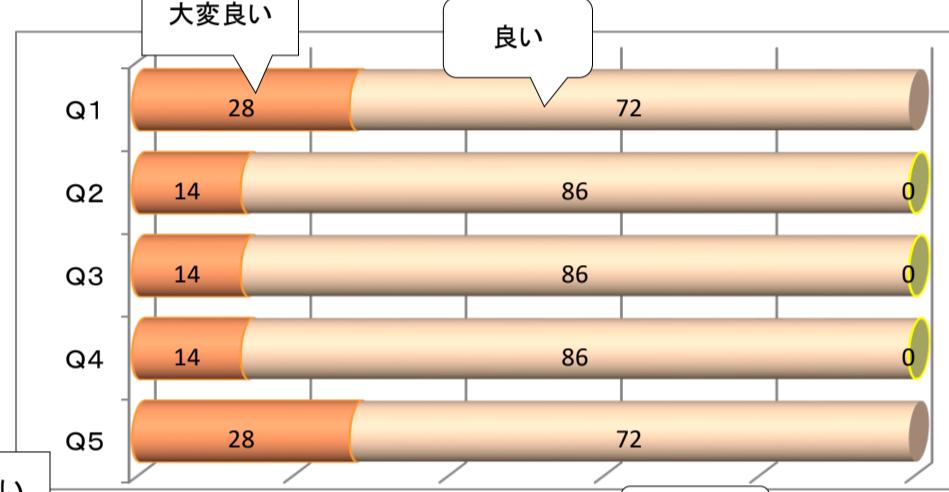
○おおむね良好な評価を得ている。
教育目標の具現化に向け、児童の実態に合わせた設定はできている。
コロナ禍を考慮し、教育目標に迫るために、全教職員による検討、共通理解が組織体としての基本土壤と考えており、閉園最終年度として、地域、保護者の願いも受けとめながら、目標の具現化を目指したい。



◇指導について

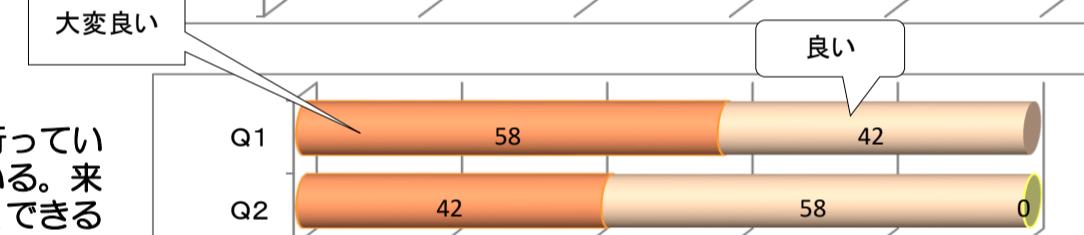
Q1 指導計画は、児童の実態に即して作成しているか。
Q2 幼稚園教育要領に基づく指導援助が適切に行われているか。
Q3 環境構成を考慮した指導の方法や過程を工夫しているか。
Q4 教材・教具を適切に活用しているか。
Q5 評価結果を基に、指導の改善に努めているか。

○おおむね良好な評価を得ている。
幼稚園教育要領の全面実施を受け、子どもの遊び込ができる時間の設定や環境構成の在り方、教材の活用などに日々工夫してきた。



◇教育課程

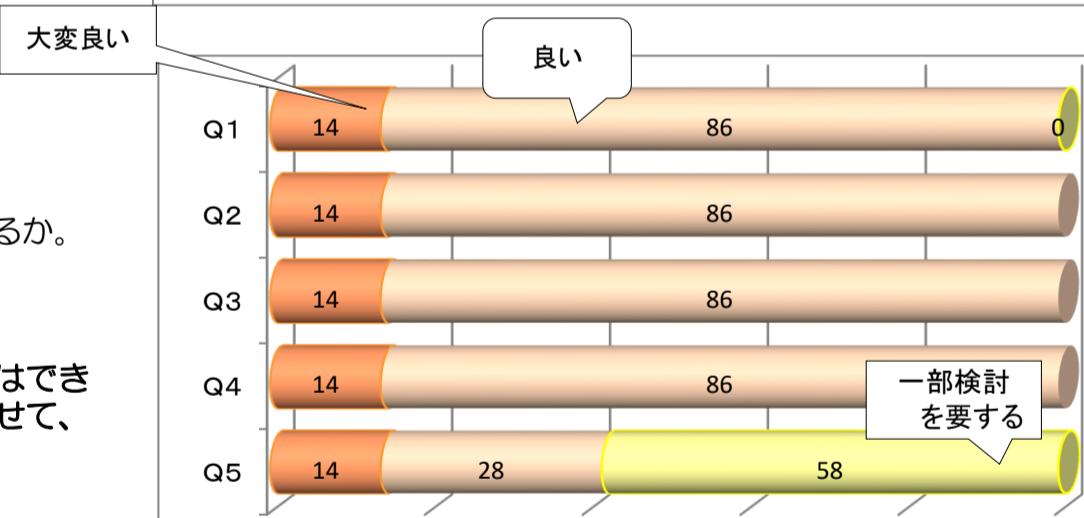
Q1 教育週数を確保しているか。
Q2 登園・降園時刻と一日の流れは現行でよいか。
○おおむね良好な評価を得ている。
幼稚園教育要領に基づいて教育課程を編成し、実践・評価を行っている。指導主事に学校教育指導訪問を要請し、指導助言を受けている。来年度は子ども園むけの移行の年なので、保育所との交流が多くできるよう進めているところである。



◇行事について

Q1 行事の種類や実施回数は適切か。
Q2 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。
Q3 幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。
Q4 計画・実践・評価・改善の体制をとっているか。
Q5 保護者の願いや意見を取り入れているか。

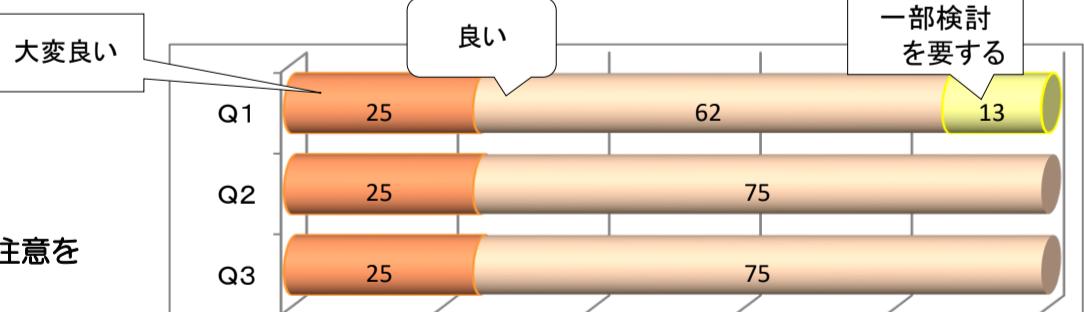
○おおむね良好な評価を得ている。
コロナ禍ということもあり保護者の願いを全て取り入れることはできないが、できる限りの対応をしてきた。教育課程に照らし合わせて、今後も検討しながら進めていくようにする。



◇情報

Q1 幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。
Q2 公文書収受、発送、処理を適切に行っているか。
Q3 表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。

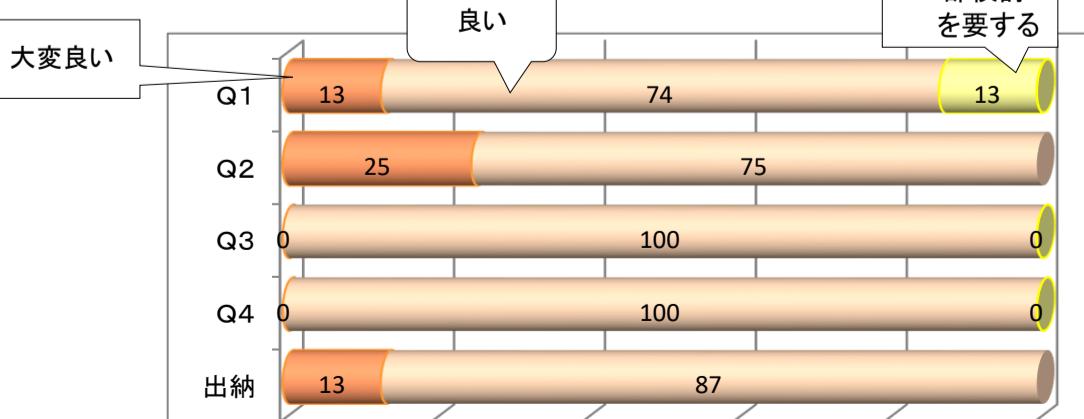
○おおむね良好な評価を得ている。
・個人情報については、文書だけでなく、映像や写真的扱いも十分に注意を払ってきている。



◇施設・設備・出納経理

Q1 園舎・園庭の施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。
Q2 遊具・用具・教材等を活用しやすいように整理・保管しているか。
Q3 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。
Q4 揭示板、掲示場所等を適かつ効果的に活用しているか。

出納：各種会計を適正かつ適切に処理しているか。
○おおむね良好な評価を得ている。
・施設・設備の老朽化に伴い、日々細やかな点検が必要である。
・不審者対応について、様々な想定を考えて備えていく必要がある。



◇開かれた幼稚園づくり ＜学校間交流・連携＞

- Q1 他校種との年間交流計画は、教育目標や課題に添ったものか。
 Q2 他校種の児童生徒と触れ合う中で、児童が楽しく過ごし、充実感を味わうような配慮や援助・指導を行っているか。
 Q3 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。
 Q4 参観や指導に参加するなどで、他校種の教育を理解しているか。
 Q5 日常に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。

○おおむね良好な評価を得ている。

- ・今年度はコロナ対策でなかなか交流ができない、互いの教育を理解するという部分では課題が残るが、研修資料を通して幼稚園を知つてもらう工夫はできた。
- ・高校生との交流については今後も継続していきたい。

＜家庭・地域社会との連携＞

- Q1 保育所や小学校と連携しながら交流を図っているか。
 Q2 保育所を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。
 Q3 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。
 Q4 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。

○おおむね良好な評価を得ている。

- ・Q4については、コロナ禍のためにできなかった部分が多いので、次年度は状況を見ながら進めていく。

◇経営・組織 ＜分掌・体制＞

- Q1 能率的、合理的な運営組織になっているか。
 Q2 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。
 Q3 職員の配置は適材・適所か。
 Q4 係や仕事の分担・割当は適切か。

○おおむね良好な評価を得ている。

- 職務内容が明確になっておらず分かりづらいところがあるので改善が必要。

＜運営＞

- Q1 各種会議を適切かつ効果的に進めているか。
 Q2 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しまことなく園の運営に関わっているか。
 Q3 打合せ回数、時間、内容は適切か。

○おおむね良好な評価を得ている。

＜学級経営＞

- Q1 クラス目標は、教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。
 Q2 クラス目標は、児童の実態に即して設定しているか。
 Q3 クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。
 Q4 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。
 Q5 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。
 Q6 評価、資料（諸記録）を集めているか。

○おおむね良好な評価を得ている。

＜保健・安全指導＞

- Q1 学級経営に生かされるよう、具体的保健指導を講じているか。
 Q2 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。
 Q3 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行ったか。
 Q4 幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っているか。

○おおむね良好な評価を得ている。

- ・お散歩時の不審者対策の避難訓練を学童と連携して行えたことがよかったです。

◇研究・研修

- 内Q1 研究主題は、保育・教育目標の具現化につながるものであるか。
 内Q2 園内研修の計画・運営は適切であるか。
 内Q3 研究の成果を日常の保育に生かし、児童の育ちに反映させているか。
 内Q4 研究の実践による児童理解が深まりを見せているか。
 外Q1 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。
 外Q2 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。

○おおむね良好な評価を得ている。

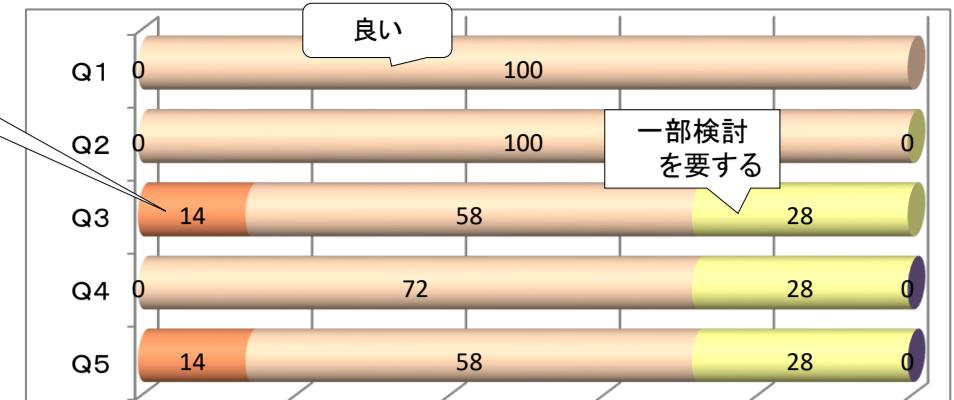
- ・次年度に向けて、より主題を意識した保育を心掛けることができていた。
- ・園外研修には参加できていないが、オンラインで研修を進めました。

コロナ禍で状況をみながら、スーパーバイザー・指導主事訪問や児童教育センターによるオンライン研修ができ有意義だった。コロナ禍の様子を見ながら外部研修参加体制を整えていく。

大変良い

良い

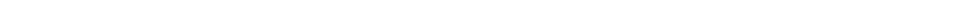
一部検討
をする



大変良い

良い

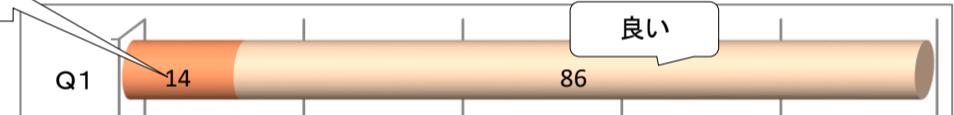
一部検討
をする



大変良い

良い

一部検討
をする



大変良い

良い

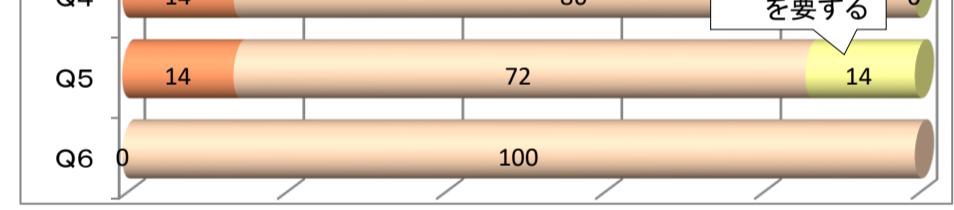
一部検討
をする



大変良い

良い

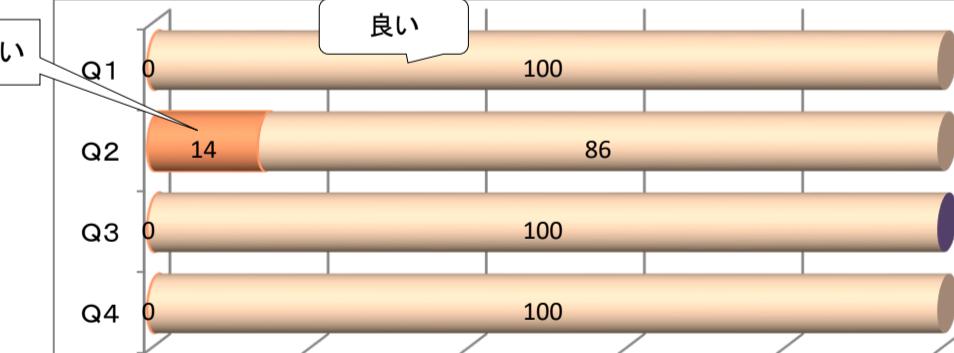
一部検討
をする



大変良い

良い

一部検討
をする



大変良い

良い

一部検討
をする

